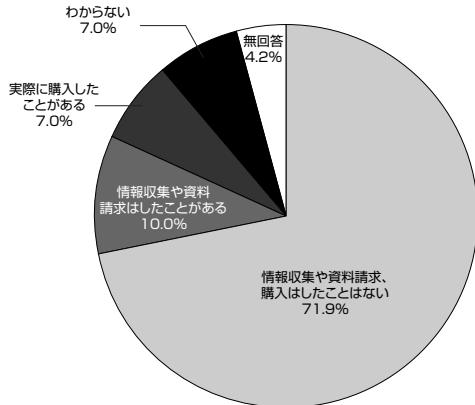
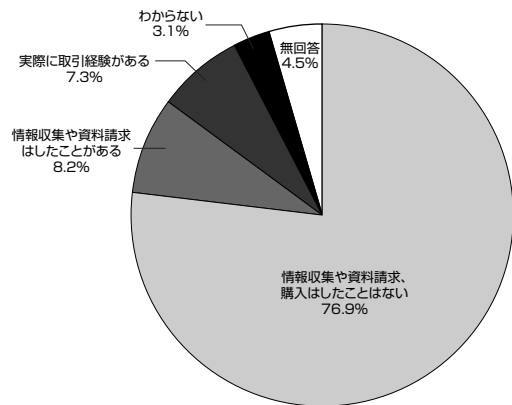


資料 1-3-39 金融商品取引/トレーディングについて、インターネットによる情報収集、資料請求、取引経験の有無 N=1,684



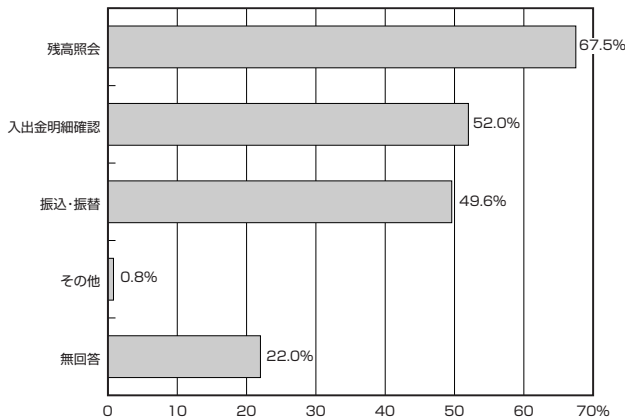
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-40 バンキングについて、インターネットによる情報収集、資料請求、取引経験の有無 N=1,684



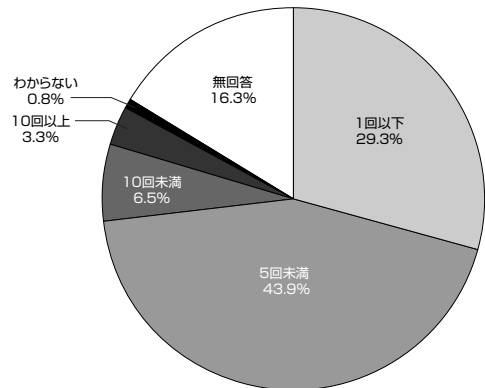
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-41 実際に利用したバンキングサービス内容 N=123



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-42 インターネットバンキングの1か月の利用頻度 N=123



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

解説

では」の内容の充実と、価格設定、利用方法等が提供されれば充分ポテンシャルがあるマーケットだといえる。

■オンラインバンキング/トレーディング

パソコンインターネット利用者全体の中で、金融商品取引/オンライントレーディングについてインターネットによる情報収集、資料請求、あるいは実際の取引、購入経験のある人は7.0%と比率は小さいながら、昨年の3.4%と比べると倍増している。また、その分情報収集や資料請求経験者は10.0%と昨年13.6%から若干減

少している。性別年代別で見ると、昨年同様、60代以上や男性の比率が高い傾向が強い。(オフラインでの)トレーディング取引経験との相関で見ると、約4割はオフライン取引経験がない。オフラインでの経験がなくともインターネットでトレーディングを始める人が少なくないことがわかる。オンラインバンキングについてもトレーディングと同じ傾向にある。実際にオンラインでの取引は全体の7.3%が経験しており、昨年の4.2%から増加している一方、情報収集、資料請求は昨年の10.3%から8.2%と減少傾向にある。また、

実際に利用しているバンキングサービス内容は「残高照会」(67.5%)、「入出金明細確認」(52.0%)、「振込・振替」(49.6%)となっており、「残高照会」(90.0%)が抜き出していた昨年と比べると満遍なく利用されるように変化してきている。オンラインバンキング利用経験者の1か月の利用頻度は5回未満の合計が全体の73.2%を占める。月に5回以上の高頻度の利用者は9.8%であった。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp